



災害時の子ども支援



災害時、子どもたちへの配慮はどうあるべきか
災害時の子どもの声から見える日常の関わり

日時：2017年7月15日(土) 13:30~16:00 参加費：500円

会場：福岡市早良市民センター 視聴覚室

(研究会員無料)

※どなたでもご参加いただけます

災害時、子どもにはどんな保護、支援、参画の場が必要なのでしょうか。調査や経験をとおして見えてきたことを聞いて、災害時の子ども支援のあり方や、さらに災害時であるからこそ見えてきた日常の問題点について考えてみたいと思います。

話題提供者

吉岡直子さん 西南学院大学教授

- ・西方沖地震後の聞き取り調査から見えるもの

三宅玲子さん (NPO法人) チャイルドライン「もしもしキモチ」事務局

- ・熊本震災後のチャイルドラインに寄せられた声から見えてきたこと

上村一隆さん 震災ボランティアとして

- ・熊本震災後の子どもたちとの活動を通して感じたこと

参加申込は、お名前、団体名(なければ無記入で)、
連絡先を、下記へメールか、電話でお知らせください。

◆主催：福岡子どもにやさしいまち・子どもの権利研究会

<申込み・問い合わせ先>

事務局：世話人 宮本・武本

TEL 090-9470-8990(宮本)

090-1196-6393(武本)

E-mail tomo_m01022005@yahoo.co.jp

<会場アクセス>

西鉄バス

「藤崎バスターミナル」下車 直上階

地下鉄空港線

「藤崎駅」下車 2番出口

駐車場可能台数 12台

※できるだけ地下鉄・バスなどの
公共交通機関をご利用ください

電話 092-831-2321

※次回の研究会は、10月21日(土) PM 場所未定(福岡市内公共施設)
テーマ「子どもの相談・救済」(仮題)